

TOKYO MAIL NEWS



JR EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.12.18

No. 146



TWITTER

「2021年度営業関係施策(その3)」について提案を受ける!

12月17日、地本は支社より「2021年度営業関係施策(その3)」について提案を受けました。会社は、「変革2027」「駅の変革」のスピードアップに向け、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築し、当社グループの持続的な成長につなげていくため、駅の運営体制の見直しを行うとしています。

市ヶ谷駅(実施日:2022年3月1日、標準数:24名→20名)

- ・販売体制の見直し(出札閉鎖) 4徹3日勤⇒4徹1日勤
- ・管理体制の見直し 1徹1日勤⇒1徹

四ツ谷駅(実施日:2022年3月1日、標準数:20名→16名)

- ・販売体制の見直し(出札閉鎖)、話せる指定席券売機の設置 3徹2日勤⇒3徹
- ・管理体制の見直し 1徹1日勤⇒1徹

高円寺駅(実施日:2022年3月19日、標準数:17名→12名)

- ・販売体制の見直し(出札閉鎖) 3徹1日勤⇒2徹
- ・管理体制の見直し、お客さまサポートコールシステム導入

阿佐ヶ谷駅(実施日:2022年3月19日、標準数:17名→12名)

- ・販売体制の見直し(出札閉鎖) 3徹1日勤⇒2徹
- ・管理体制の見直し、お客さまサポートコールシステム導入

荻窪駅(実施日:2022年3月19日、標準数:27名→26名)

- ・改札体制の見直し、お客さまサポートコールシステム導入 6徹1日勤⇒6徹

西荻窪駅(実施日:2022年3月19日、標準数:17名→12名)

- ・販売体制の見直し(出札閉鎖) 3徹1日勤⇒2徹
- ・管理体制の見直し、お客さまサポートコールシステム導入

西日暮里駅(実施日:①2022年3月1日 ②2022年4月1日、標準数:18名→15名→0名)

①改札体制の見直し

②(株)JR東日本ステーションサービスへ駅業務全般委託(管理駅:日暮里駅)

緊急事態宣言が解除されてからお客さまが増加し、急病人対応や車内トラブル対応など、駅社員による対応が必要な場面が増えてきました。お客さまサポートコールシステムの導入は、初動対応の遅れを招きかねません。また、出札窓口の閉鎖は、お客さまに近隣駅の窓口までご移動いただく取り扱いが発生します。会社は、運賃を頂かないのでサービスは低下しないという認識ですが、施策によって受けられなくなるサービスが発生することは明らかなサービス低下であり、このような施策の進め方は認められません。

私たちは、お客さまの求める「安全で安心して利用いただける輸送サービスの提供」を目指し、現場で働く仲間と議論し、団体交渉を申し入れていきます。

お客さまの求める輸送サービスには“人の力”が必要だ!

地本は職場で奮闘する仲間と共に団体交渉に臨みます!